


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下では観光で悪化がみられるなど、極めて厳しい状況にある」

項目	前回（2年1月判断）	今回（2年4月判断）	前回比較
総括判断	拡大している	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下では観光で悪化がみられるなど、極めて厳しい状況にある	




（注）2年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。







（判断の要点）

個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアは、外出自粛等により来店客数が減少しているなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。観光は、入域観光客数が減少するなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年1月判断）	今回（2年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	拡大している	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	
観光	拡大している	新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化している	
雇用情勢	改善している	改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる	

設備投資	元年度は前年度を上回る見込み	元年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	元年度は減益見込み	元年度は減益見込み	
企業の景況感	現状判断は、「上昇」超幅が縮小している	現状判断は、「上昇」超から「下降」超に転じている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	
生産活動	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	

【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響による極めて厳しい状況が続く見込みであり、さらなる下振れリスクにも十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

百貨店・スーパー販売額は、食料品が好調のほか、新規出店効果などから前年を上回っているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛による来店客数の減少などがみられる。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果から前年を上回っているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光地周辺を中心に来店客数の減少などがみられる。ドラッグストア販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられ、衛生用品が好調のほか、新規出店効果などから前年を上回っている。新車販売台数、中古車販売台数ともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年を下回っている。家電販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年を下回っている。このように、個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により下押しされ、弱含んでいる。

(主なヒアリング結果)

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、インバウンドや国内顧客の需要も減少し、卒業式や入学式などのイベント需要も減少したことから、状況が一層悪くなった。また、館内のイベントなども延期や中止となっているため、集客ができない状況にある。(百貨店・スーパー)
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、インバウンドや日本人観光客など徐々に客足が鈍り、衣料品等が前年比割れとなったものの、食料品と衛生用品の需要が伸びたことから全体では前年比増である。(百貨店・スーパー)
- 2月に入りインバウンドが大きく減少し、3月に入ると外出自粛や学校休校でさらに悪くなった。来店客数の減少で売上は落ちたが、冷凍食品やチルド弁当の需要は増加した。(コンビニエンスストア)
- 新規出店効果はあるものの、加えて新型コロナウイルス感染症の影響によるマスク等を含む衛生用品やレトルト類などの食品は前年比増と大きい。高額化粧品は、インバウンド客の減少で前年比減となっている。(ドラッグストア)
- 3月は決算フェアが新型コロナウイルス感染症の影響で中止されたため、契約台数は減少見込み。(自動車販売店)
- 新型コロナウイルス感染症の影響で来店客数が減少し売上も減少している。ただし、売上構成比は低いものの、加湿器と空気清浄機が新型コロナウイルス感染症の影響で大きな伸びを示していた。(家電量販店)

■ 観光 「新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化している」

入域観光客数は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより全体では減少している。国内客は、各種イベント自粛や旅行自粛の動きに加え、航空路線の減便が続いていることなどから減少傾向となっている。外国客は、新型コロナウイルス感染症の影響による航空路線の減便やクルーズ船の寄港回数の減少などにより大幅に減少している。ホテルの客室稼働率、客室単価はともに前年を下回っている。このように、観光は新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく下押しされ、悪化している。

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、沖縄への送客は大きく縮小するなど、国内外の観光客の減少に伴い、売上は激減している。(旅行)
- 1月末に中国政府が日本を含めた海外団体旅行を禁止したことにより中国客をメインに減少し始め、更に航空会社のキャンセル無料の発表があったことからキャンセルが増え、3月からはビジネスマンも旅行者も大きく減少している。過去のリーマンショックなどのイベントとは比較にならないほど、今回は経済的な損失の規模が違う。(宿泊)
- 渡航禁止措置による外国客の減少他、県内イベント中止によるシャトルバスの需要が減少したことにより売上は大きく減少。3月に入るとインバウンド、修学旅行、イベントのシャトルバスは全部キャンセルとなった。(陸運)
- 3月の全体の売上は前年と比べ半減している。3月の利用客の中には、若者の学生旅行が新型コロナウイルスの影響で海外旅行から沖縄に振替られた例がある。4月以降は、週を追うごとにキャンセルが増え、予約よりキャンセルが多い状況。(レンタカー)

■ 雇用情勢 「改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる」

新規求人数は、求人票の記載項目が拡充され、一部に求人への提出を見送る動きがあったことなどにより、前年を下回っており、新規求職者数(新規求職申込件数)は前年を上回っていることなどから、有効求人倍率(季節調整値)は低下している。こうしたなか、改善していた雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。

- 令和2年1月から、求人票の記載事項が拡充され、一部に求人への提出を見送る動きがあったことにより1月及び2月の求人数の減少がある。3月に入って新型コロナウイルス感染症の影響が広がり、宿泊業など観光業全体が影響を受けている感触があり、求人は旺盛に出ている状況ではない。一方、高齢化が進んでいるタクシーや路線バスの運転手などの求人は旺盛である。(行政機関)
- 3月は年間を通して求人件数の一番多い時期であるが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により求人広告を控える企業が出てきているため、現時点では求人広告件数が対前年同月比20%以上減少。大型複合商業施設への出店を取りやめる企業もあり、ホテルの社員及びアルバイトを含め新規募集をストップしている状況もある。(求人誌出版)

■ 設備投資 「元年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年1-3月期

- 製造業では、鉄鋼などで増加することから、全体では前年度を18.0%上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、不動産・物品賃貸、運輸・郵便で減少するものの、情報通信、サービスなどで増加することから、全体では前年度を15.3%上回る見込みとなっている。

- 今年度はスクラップの選別機とコンベアの維持更新を行うため、増加見込みである。(鉄鋼)
- 事業領域を広げ、次の収益基盤を確立するため、海底ケーブル敷設工事、データセンター建設を行うので、増加見込みである。(情報通信)

■ 企業収益 「元年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年1-3月期

- 製造業では、金属などで減益となるものの、鉄鋼などで増益となることから、全体では110.5%の増益見込みとなっている。
- 非製造業では、運輸・郵便などで増益となるものの、卸売・小売、建設などで減益となることから、全体では7.7%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「現状判断は「上昇」超から「下降」超に転じている」

(全産業) 「法人企業景気予測調査」2年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、全産業では「上昇」超から「下降」超に転じている。先行きは「下降」超幅が縮小後、「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲ともに前年を下回っており、全体でも前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 公共工事前払金保証請負額(元年度累計)は、前年を上回っている。

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

- 鉱工業生産指数は前年を下回っているなど、生産活動は足踏みの状況にある。